



新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
 平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
 この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



項目名	● PD-L1/22C3 食道癌 (依頼コード No.17535)
受託開始日	2020年10月1日(木) ご依頼分より

2017年に保険収載されたPD-L1検査は、今日までに様々な腫瘍に保険適用が拡大されてきました。今回は【PD-L1/22C3検査】で「がん化学療法後に増悪したPD-L1陽性の根治不能な進行・再発の食道扁平上皮癌」が対象となりました。

また、2017年2月受託の【PD-L1/22C3(依頼コード:13052)】とは報告形式が異なるため、【PD-L1/22C3 食道癌】は新規依頼コード(17535)で受託を開始いたします。この度、本検査の受託体制が整いましたので受託開始をご案内いたします。

受託要領

依頼コード	17535
検体の必要量	・未染スライド標本4枚(切片は4μm厚) ・パラフィン包埋ブロック(別途スライド作製料が必要)
検体の保存方法	室温
測定方法	免疫組織化学染色(IHC)
報告日数	7~10日
検査実施料	2700点
検体提出のご注意	<ul style="list-style-type: none"> ・必ずシラン等のコーティングスライドをご使用ください。 ・病理診断名、病理所見は判定上必須となりますのでご記入ください。(可能であれば、病理報告書の添付をお願いいたします。) ・腫瘍細胞数100個以上が確認された組織をご提出お願いいたします。 ・依頼書の「臨床診断及び臨床情報」欄に固定時間をご記入ください。 ・切除後1時間以内に10%中性緩衝ホルマリンで12時間以上~72時間以内の固定が推奨されています。3時間以内のものは用いないでください。(肺癌患者におけるPD-L1検査の手引では6時間以上~48時間以内を推奨) ・手術検体では灌流固定など、ホルマリンの浸透性を高める処置が推奨されます。 ・脱灰が必要な組織や他の固定液は検証されていないため推奨しません。 ・5年以上前のFFPEブロック検体では免疫反応性が減衰している可能性がありますのでご了承ください。 ・FFPEブロックで提出の場合、別途料金がかかります。

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3

総合研究所：〒350-1101 埼玉県川越市の場1361-1

☎ 03(6629)7386 FAX 049(232)3132

検査項目検索用
アプリ B-Book



電子カルテはビー・エム・エル

